

2023年 2 月 2 日 第2506回例会
2 月 第 1 例会

RIテーマ:IMAGINE ROTARY

「イマジン ローター」

本年度会長テーマ

「原点回帰－親睦と職業奉仕－」

「平和構築と紛争予防月間」

◆ 会長時間 ◆

新原会長



2月はRIの定める「平和構築と紛争予防月間」となっています。

この時期平和構築や紛争予防ということになりますと、どうしてもウクライナで起こっ

ているロシアとウクライナの戦争（戦争とは一言で言うならば国家間における武力衝突）をどうしても想起します。現在の急激な物価高もウクライナでの紛争が大きな原因になっているの言うまでもありません。現在のようにグローバルネットワークが成熟した世界では、地球上のどこで大規模な紛争が起こっても、世界中で市民生活や企業活動に大きな影響を与えます。国家間の平和構築や紛争防止に関して、私たちに何ができるのかというと大変難しい問題ですが、決して無関心ではられません。

国家間でも家庭内でも紛争の主な原因は、価値観の相違や、価値観の押し付け合いによるものだと思います。我が家では感情のぶつかり合いもありますが…。したがって紛争予防には、どうやって異なる価値観の調和を図るのかということが重要な気がします。

ロータリーはその目的の最後に、世界的なネットワークを通じて、国際理解、国際親善、国際平和を推進する、としています。また、ロータリーの基本である「利他」という理念は、他人の立場

を思いやるということでもあると思います。国家の意思を決定するのは人ですから、ロータリーの目的や理念がロータリアンのみならず、世界中で多くの人に浸透していけば、多少は紛争予防や国際平和の実現に効果があるのかなと考えたりもします。

☒ 本日ご来訪いただきました、国際ロータリー第2710地区グループ6ガバナー補佐の古谷 幸一様からご挨拶をいただきました。



● 会務報告 ● 古本幹事

☒ 2022年1月から12月の期間、ロータリー財団及び米山記念奨学会に寄付をされた会員宛てに確定申告用領収書が届きましたので、BOX配布しています。

☒ 熊平製作所よりご恵贈の「抜萃のつづり」をBOXに入れておりますので、お持ち帰りください。

☒ 例会終了後、4階「カメラア」において2月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

● 第8回理事会議事録

日時 2023年2月2日(木) 例会終了後～
場所 ANAクラウンプラザホテル広島 4階
「カメリア」

報告事項

- ① 各委員会活動状況について
中村(哲)理事より新会員情報をボックス配布して次年度へ引き継ぐ旨報告された。
- ② 1月度収支計算報告について
- ③ 合同理事会各クラブ報告一覧について
- ④ その他
 - 新原会長より広島西RC創立20周年記念事業として寄贈した時計塔の状況が報告された。
 - 古本幹事よりバナーの補充購入、G7サミット開催に伴う理事会上程への留意事項、地区補助金申請について報告された。

審議事項

- ① 第7回理事会議事録の承認について 承認
- ② 第2500回例会を祝う料理のグレードアップ報告 承認
- ③ 職業奉仕部門クラブフォーラム 報告 承認
- ④ 新会員企業従業員の例会招待について 承認
- ⑤ IAC卒業者への感謝状贈呈について 承認
- ⑥ 国際奉仕部門クラブフォーラムについて 承認
- ⑦ 4月卓話プログラムについて 承認
- ⑧ 3月9日創立53周年記念夜間例会について 承認
- ⑨ 安部 貴之 さん 入会手続き開始の承認について 承認
- ⑩ 新会員候補者(崔 希美 さん) の入会について 承認
- ⑪ 5月18日例会の取消しについて 承認
- ⑫ 新型コロナウイルス感染症への対応について(3月メイクアップ) 不要として承認

次回開催日

3月2日(木) 例会終了後～ANAクラウンプラザホテル広島

● 卓話予告

日時	テーマ
2/16(木)	「性暴力トピックス」 河野産婦人科クリニック 院長 河野 美代子 氏

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 吉田(大)副委員長

本日(2月2日・木曜日)
会員数 87名 出席者 72名
欠席者 15名 ご来客 0名
ご来賓 2名 ゲスト 1名
計 75名

4週前の例会2022年12月22日・木曜日
出席率 100%



● 会員記念日

祝 2月お誕生日おめでとうございます。

(10名)

中村(哲)君	森信君	玉木君
片山君	小宇羅君	上田君
安原君	松田君	山縣君
亀田君		



● スマイルボックス SAA 柴田委員長

🎉 第2710地区グループ6ガバナー補佐 古谷

幸一(ふるたに こういち)様(自主申告)

皆様こんにちは。本日は2月12日(日)開催のIMのご協力のおににまいました。当日は、会員皆様のご協力どうぞよろしくおににま申しあげます。

IM実行委員長 石川 貴与和(いしかわ きよかず)、広島陵北RC 会長 森中 祥二(もりなか しょうじ)、以上二名代行も兼ねてご出宝させていただきます。

ということでトリプルをいただきました。

🎉 柴田君(自主申告)

昨年9月に、「小田原で一人暮らしをしてい

た叔母を、元気なうちに生まれ故郷の広島に連れて帰り同居生活が始まりました」と、スマイルで報告しましたが、あれから約4ヶ月、ようやく空きが出た、自立支援型のケアホームに、昨日入居することができました。

80歳の叔母には介護スタッフが不要な、今の自立した生活が1日でも長く続けられるよう、これからもバックアップを続けてまいります。ということで、叔母の新生活を祝して出宝します。

■ 卓 話



レペゼン BUTSU BUTSU

株式会社中国放送
ラジオ局アナウンス部

瀧上 沙紀氏

今回の卓話でお話するのは、私が担当する、RCC テレビ「イマナマ!」火曜日コーナー「BUTSU BUTSU」について。2021年から始まり、今年で3年目を迎えました。

このコーナーは広島県内を舞台に、藁一束を手に旅をします。行く先々で地域の方と触れ合い、昔話の「わらしべ長者」同様 藁からスタートし、物々交換して回ります。そして最終的に手元に残ったものを換金し、お預かりしたお金で遊具を造り、保育施設にプレゼントしています。これまでに3つの滑り台を造りました。

製造を担うのは福山市の木材加工会社 和（かず）産業の方々。子ども達が思いっきり遊んでも安全なように加工や設計をしてくれました。そして使用する建材は広島県産の檜。香りもよく、使えば使うほど艶が出るそうです。物々交換に協力してくださった方々を始め、広島県のさまざまな思いが結集して滑り台は完成します。



そんな滑り台の前回の寄贈先は、大竹市の阿多田島にある阿多田島保育園。大竹市からフェリーで30分、人口約300人の島で、通う園児はわずか2人。小学校以上は島外に通うため、日中、島には子どもがその2人しかいません。阿多田島ではこれまで、島外の子ども達と触れ合う機会を定期的に設けていましたが、コロナの影響でその機会も減少していました。

そこで、「滑り台をきっかけに島外の子ども達に島に遊びに来てほしい。滑り台を阿多田島の子ども達と、島外の子ども達の懸け橋にしたい。」という島の方々の想いに応えたいと思い、寄贈先を選びました。



滑り台を持っていくと、笑顔で出迎えてくれる園児たち。早速楽しそうに滑ってくれました。夕方になると、フェリーに乗って帰ってきた小学生達も新しい遊具を前におおはしゃぎ。列を作って何度も遊ぶ姿に、今まで物々交換でお世話になった方々への感謝の思いも重なり、胸が熱くなりました。

阿多田島保育園は園児は少ないものの、子育て世代のお母さんの集い場になっていたり、地域の憩いの場にもなっているそうです。来年には今回出迎えてくれた2人も小学生になり、阿多田島保育園に通う園児はいなくなりますが島で暮らすお母さんのお腹には、今、未来の園児がいるそうです。

今回「たとえ園児が少なくても子ども達がいる限り、保育園を守っていききたい。私たちの大切な場所に、島外からも沢山の人の遊びに来てほしい。」という島の方々の想いに触れました。寄贈した滑り台がそういった思いの一助になってくれると信じ、これからも物々交換を続けていきます。





例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 新原 靖
幹事 古本 竜一

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp

作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

